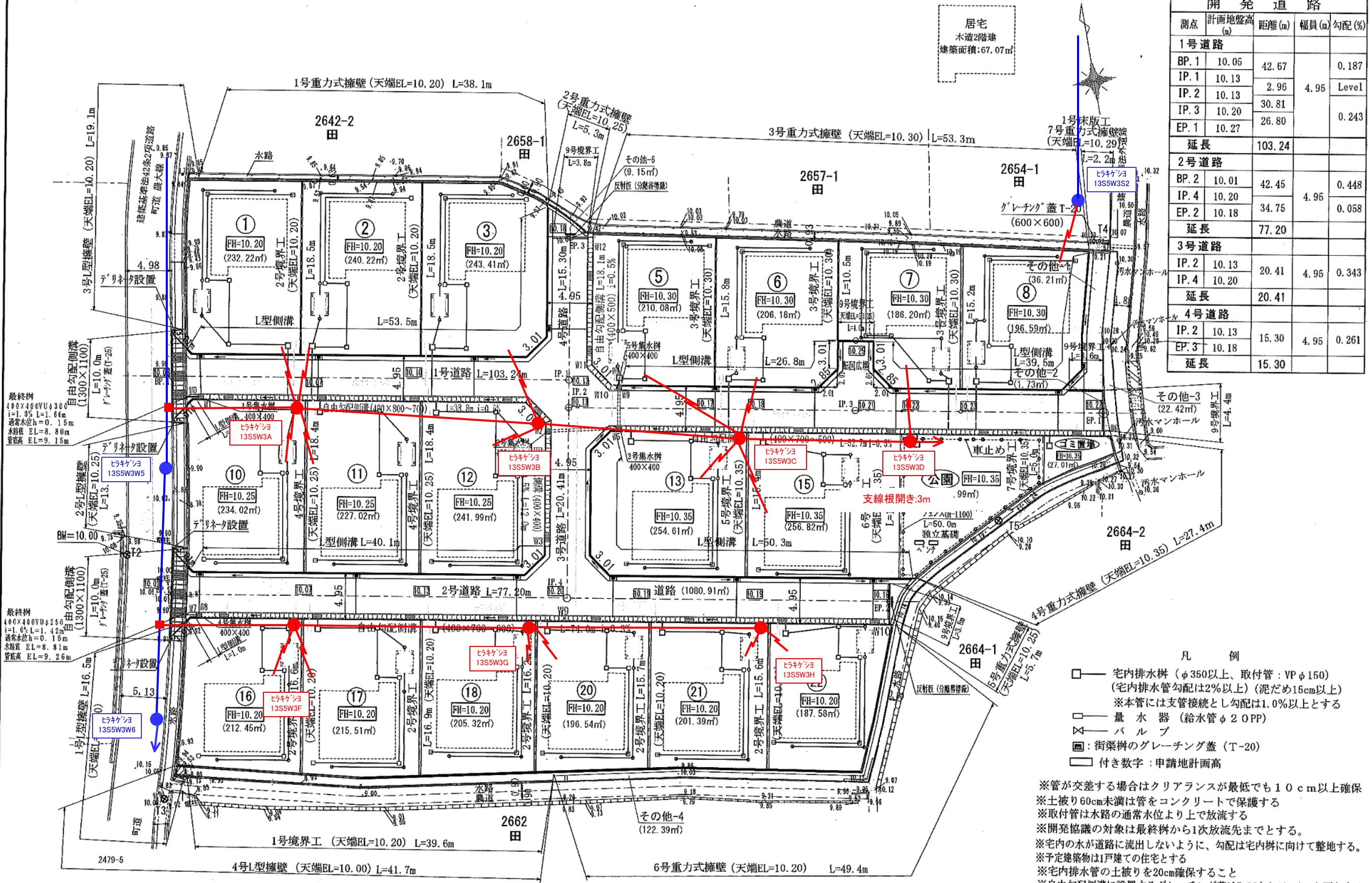


土地の所在

木田郡三木町大字池戸字下所
2655番1, 2656番, 2663番, 2660番, 2661番1, 2661番2及び地先水路

土地利用計画図(2工区)最終電柱位置図 R6.7

2483-3



開発道路				
測点	計画地盤高(m)	距離(m)	幅員(m)	勾配(%)
1号道路				
BP.1	10.05	42.67	4.95	0.187
IP.1	10.13	2.96		Level
IP.2	10.13	30.81		
IP.3	10.20	26.80		0.243
EP.1	10.27			
延長		103.24		
2号道路				
BP.2	10.01	42.45	4.95	0.448
IP.4	10.20	34.75		0.058
EP.2	10.18			
延長		77.20		
3号道路				
IP.2	10.13	20.41	4.95	0.343
IP.4	10.20			
延長		20.41		
4号道路				
IP.2	10.13	15.30	4.95	0.261
EP.3	10.18			
延長		15.30		

開発許可
年月日

第 令和 年 月 日

申請者

アイラックホーム株式会社
代表取締役 増元浩二

作成者
住所・氏名

高松市三谷町一八九一番地四
土地家屋調査士 多田 幸広

- 凡例
- 宅内排水樹 (φ350以上、取付管: VP φ150)
(宅内排水管勾配は2%以上) (泥だめ15cm以上)
※本管には支管接続とし勾配は1.0%以上とする
 - 量水器 (給水管φ20PP)
 - ⊗ パルプ
 - 街渠樹のグレーチング蓋 (T-20)
 - 付き数字: 申請地計画高

※管が交差する場合はクリアランスが最低でも10cm以上確保
 ※土被り60cm未満は管をコンクリートで保護する
 ※取付管は水路の通常水位より上で放流する
 ※開発協議の対象は最終樹から1次放流先までとする。
 ※宅内の水が道路に流出しないように、勾配は宅内樹に向けて整地する。
 ※予定建築物は1戸建ての住宅とする
 ※宅内排水管の土被りを20cm確保すること
 ※自由勾配側溝に設置するグレーチング蓋はT-25とし10mに1ヶ所とする
 ※自由勾配側溝について、防音型を使用すること
 ※開発道路内に電柱は設置しない
 ※街渠樹から本管に接続又は水路に放流する場合はVPφ150とし勾配は1.0%以上とする

縮尺 1/400